

MITSUBISHI

三菱電機フリープランシステム

取扱説明書

室内ユニット

冷媒R410A対応

PLFY-P・JM-E

PLFY-P・AM-E

PCFY-P・GM-E

PCFY-P・HM-E

PEFY-P・AM-E

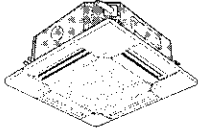
PKFY-P・GM-E

PKFY-P・AM-E

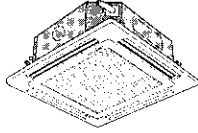
PMFY-P・BM-E

PMFY-P・EM-E

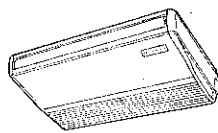
PSFY-P・GM-E



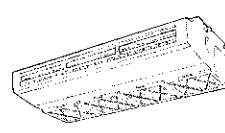
PLFY-AM



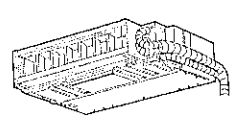
PLFY-JM



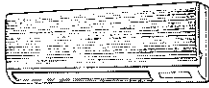
PCFY-GM



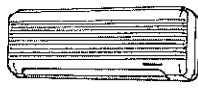
PCFY-HM



PEFY-AM



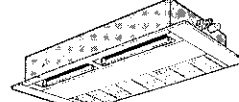
PKFY-GM



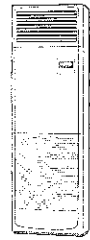
PKFY-AM



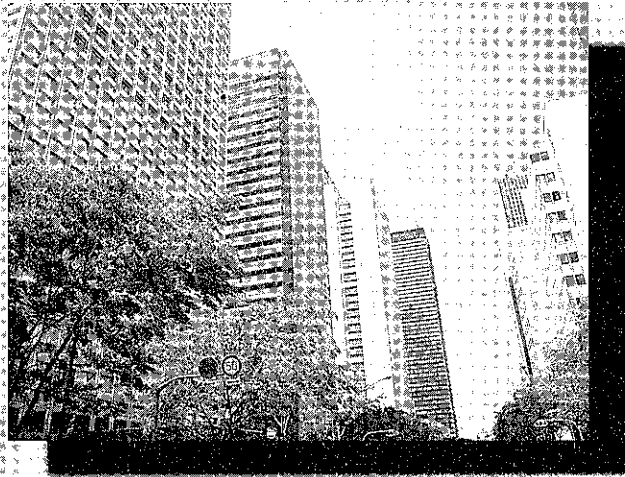
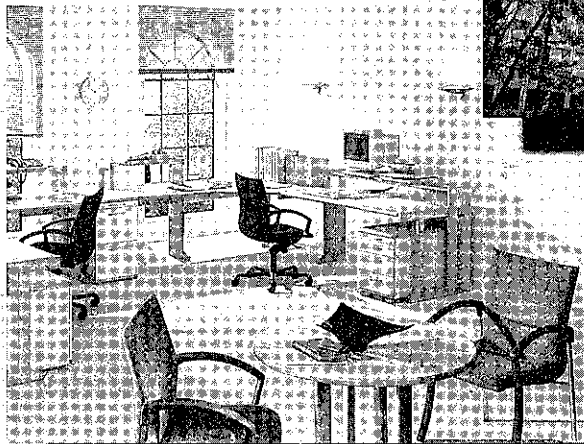
PMFY-BM



PMFY-EM



PSFY-GM



省エネで
守る環境 豊かな暮らし

このたびは三菱電機フリープランシステムをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- 保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

も く じ

お使いになる前に

安全のために必ずお守りください-----	3
各部のなまえ-----	6

運転のしかた

ワイヤードリモコン-----	8
運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた---	9
タイマー運転のしかた-----	12
自動運転、換気単独・換気連動運転のしかた-----	13
もっと知りたいとき-----	14
上手な使い方-----	15

お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた-----	16
長期間ご使用にならないとき-----	19
「故障かな？」と思ったら-----	20
保証とアフターサービス-----	21
移設・工事について-----	22
仕様-----	23・24

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

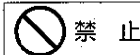
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。



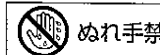
注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

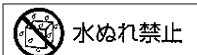
■“図記号”の意味は次のとおりです。



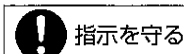
禁 止



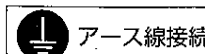
ぬれ手禁



水ぬれ禁止



指示を守る



アース線接続

安全のために必ずお守りください

●ご使用時

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない

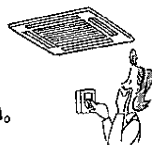
健康を損なう原因になります。



禁止

異常時(異臭・異音・振動大など)は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

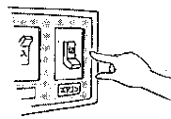
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。



分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

エアコン及びリモコンを水洗いしない

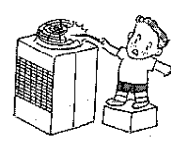
ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



水濡れ禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

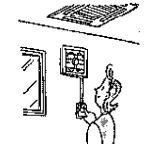
感電の原因になります。



濡れ手禁止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行なう

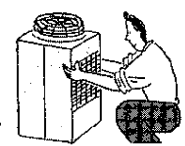
冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



換気

パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
点検時以外は絶対に外さないでください。



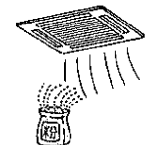
分解禁止

●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

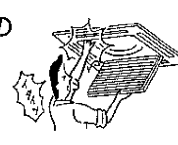
粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因になります。



禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

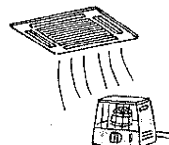
フィルターを外したときにケガの原因になります。



禁止

直接風にあたる所に燃焼器具を置かない

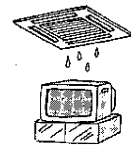
不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



設置禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿(湿度80%以上)時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

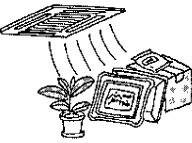
安全のために必ずお守りください

●ご使用時

⚠️ 注意

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。



使用禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

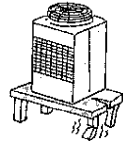
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

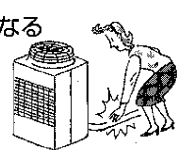
火災・変形の原因になります。



使用禁止

運転中に冷媒配管に触れない

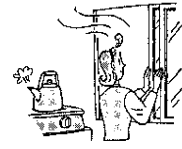
素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。



禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。



換気

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

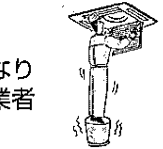
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

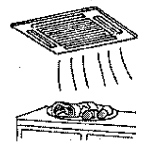
落下・転倒によるケガの原因になります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



禁止

エアコンの下方に食品や食器を置かない

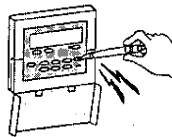
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。



禁止

リモコンを先がとがった物で押さない

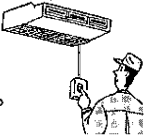
故障の原因になります。



禁止

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

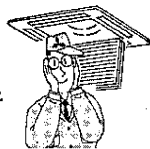
薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

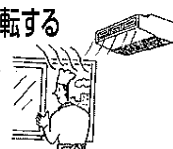
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



保護具着用

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品及び薬品から発生したガスを充分排気してから、エアコンを運転する

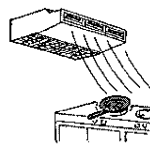
薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。



換気・送風運転

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。



使用禁止

●据付け時 次の項目をご確認ください。

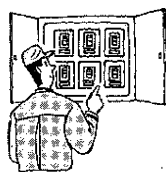
⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください



据付け

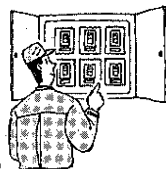
元電源の取付位置を確認する



元電源

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

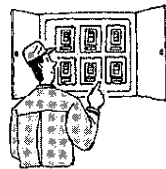
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断器を取付ける

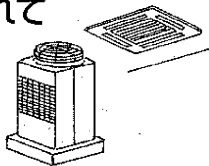
取付けていないと、感電の原因になります。



漏電遮断器

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

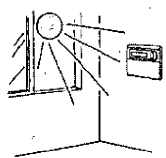
使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光が当たる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない

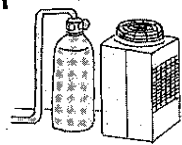


据付禁止

⚠注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・洩れの恐れのある場所へは据付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

アース工事を行なう

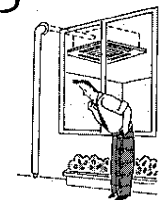
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

ドレン配管は確実にしなう

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

(冷媒が洩れたときの処置)

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行なってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輛・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

(このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

各部のなまえ

室内ユニット

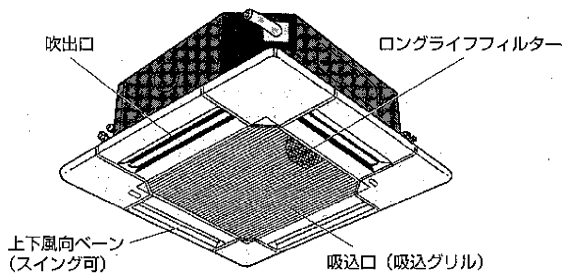
■ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

	PLFY-JM形 PLFY-AM形	PCFY-GM形	PMFY-BM形	PMFY-EM形	PSFY-GM形
風速	4速	4速	4速	2速	2速
上下風向調節	自動（スイング可）	自動（スイング可）	自動（スイング可）	自動	手動
左右風向調節	—	手動	手動	自動（スイング可）	自動（スイング可）
ロングライフフィルター	○	○	—	—	○
フィルタークリーニングサイン積算時間	2500時間	2500時間	100時間	100時間	2500時間

	PKFY-GM形	PKFY-AM形	PEFY-AM形	PCFY-HM形
風速	4速	4速	2速	2速
上下風向調節	自動（スイング可）	自動	手動	手動
左右風向調節	手動	手動	—	手動
ロングライフフィルター	—	—	—	オイルフィルター
フィルタークリーニングサイン積算時間	100時間	100時間	100時間	100時間

PLFY-JM, PLFY-AM形

4方向天井カセット形 ※図はPLFY-AM形を示します。

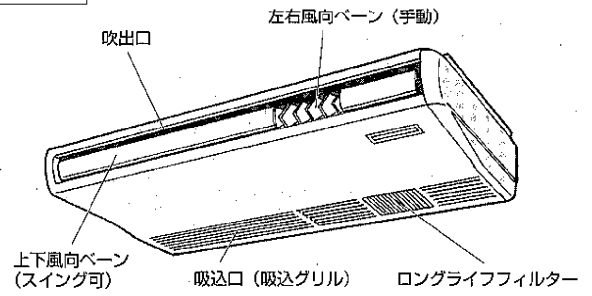


●リモコンの表示と吹出し角度

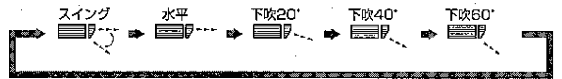


PCFY-GM形

天吊形

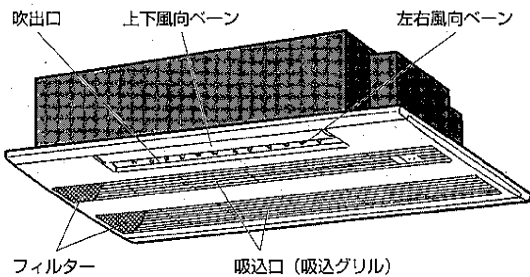


●リモコンの表示と吹出し角度



PMFY-BM形

1方向天井カセット形

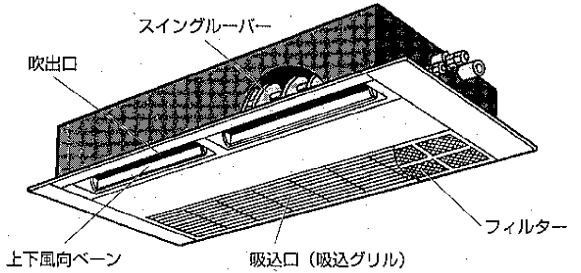


●リモコンの表示と吹出し角度

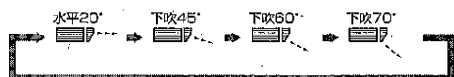


PMFY-EM形

1方向天井カセット形



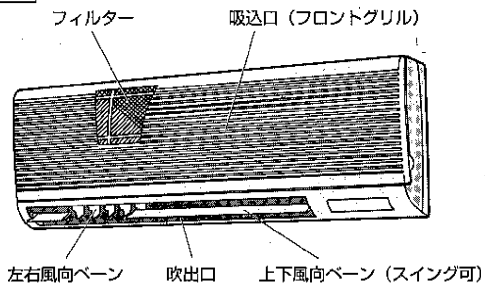
●リモコンの表示と吹出し角度



PKFY-GM, PKFY-AM形

壁掛形

※図はPKFY-GM形を示します。

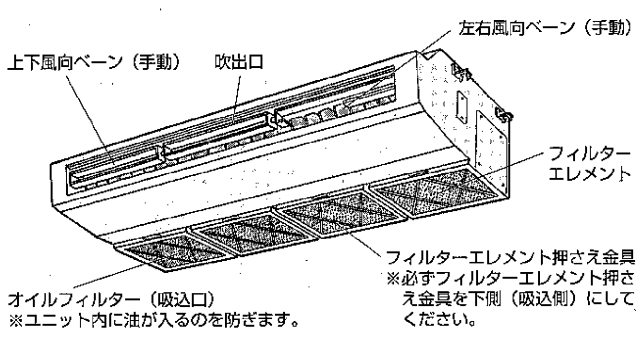


●リモコンの表示と吹出し角度

AM形: 暖房・送風	スイング	水平10°	下吹30°	下吹60°	下吹70°
GM形: 暖房・送風	スイング	水平10°	下吹30°	下吹60°	下吹70°
GM形: 冷房・ドライ	スイング	水平10°	下吹30°	下吹50°	下吹60°

PCFY-HM形

厨房用天吊形

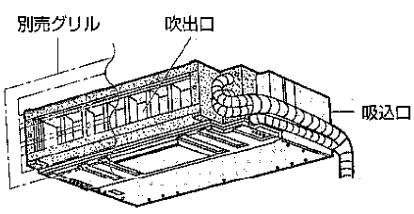


PEFY-AM形

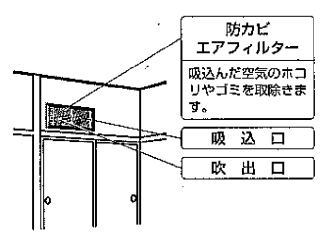
天井埋込形

室内ユニットは天井や壁の中に据付けられます。

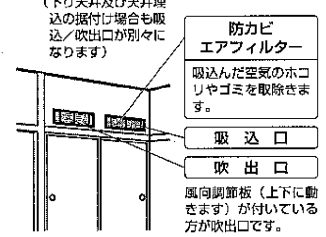
設置例 ここにあげた設置例は代表的なものです。実際には例と異なる場合もあります。



例1) 天袋一面タイプ

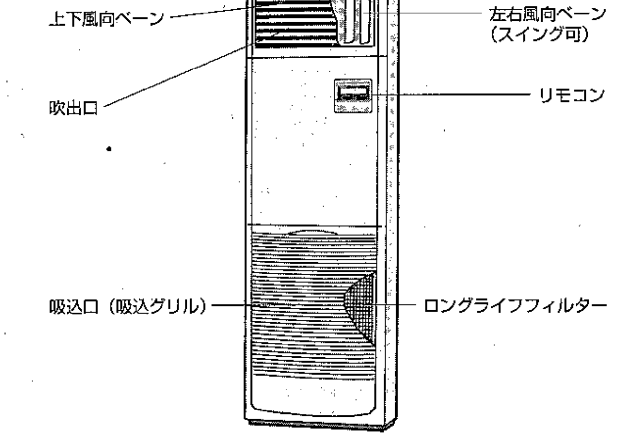


例2) 天袋分離タイプ (下り天井及び天井埋込の据付け場合も吸込/吹出口が別々になります)



PSFY-GM形

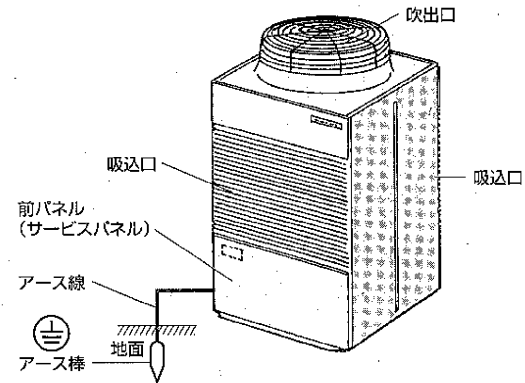
床置形



室外ユニット

■システムにより、形態が異なります。

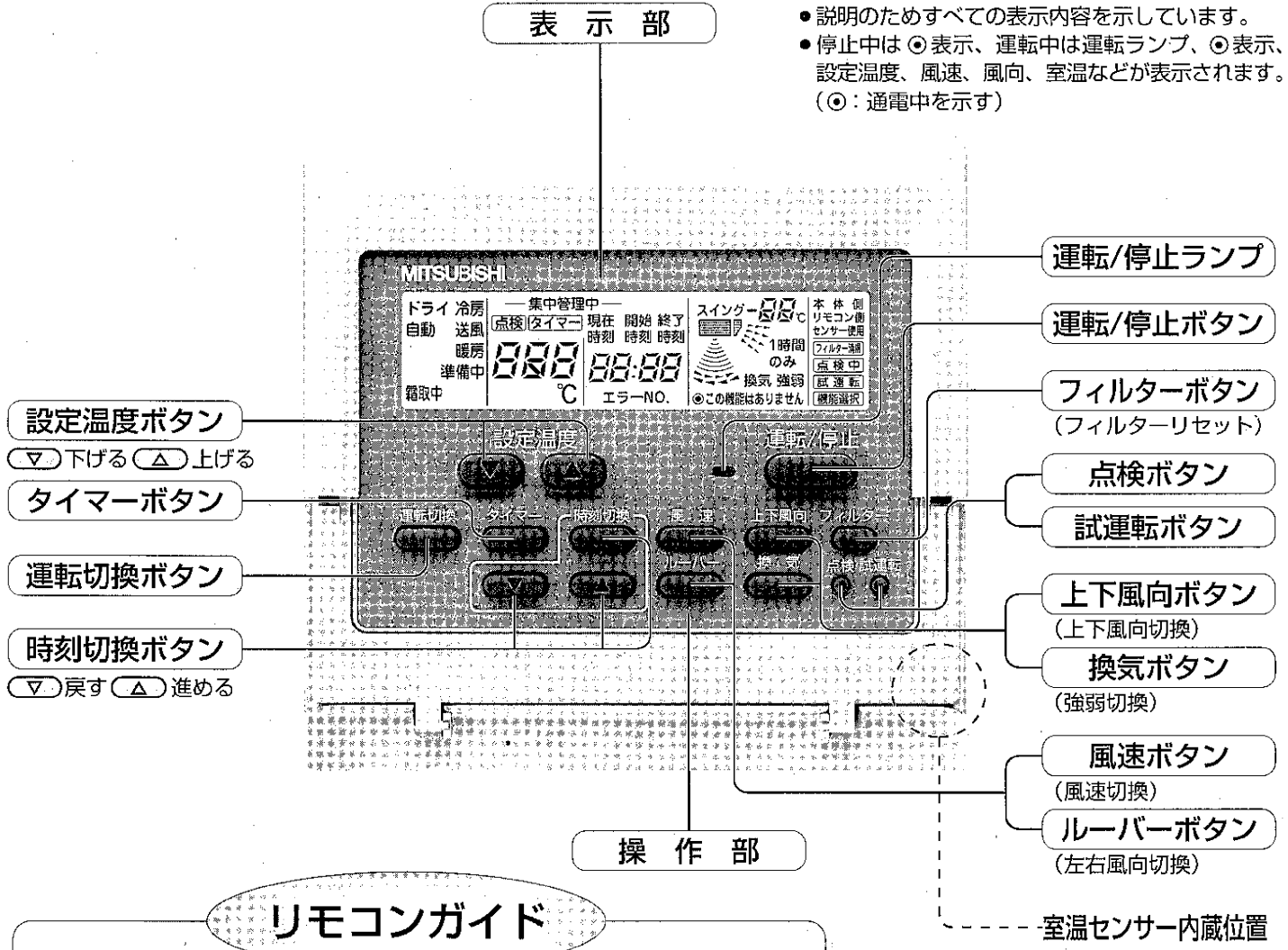
PUHY-P-M-E形
PUHY-P-SM-E形



リモコン (別売部品)

※PSFY-GM形は、室内ユニットに内蔵

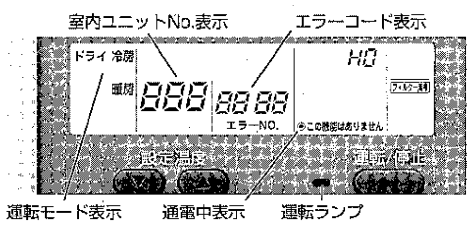
リモコン



●説明のためすべての表示内容を示しています。
●停止中は◎表示、運転中は運転ランプ、◎表示、設定温度、風速、風向、室温などが表示されます。
(◎：通電中を示す)

リモコンガイド

- “H0”表示 (初期自動点検中)
電源を入れたときと停電が復帰したとき…約3分間お待ちください。
- 運転モードの点滅
同一室外ユニットに接続された他の室内ユニットがすでに異なる運転モードで運転しています。運転モードの設定をすべて同一にしてください。
- 運転ランプ・エラーコードの点滅
点滅しているときは点検が必要です。
エラーコードを確認の上、お買上げの販売店へご連絡ください。



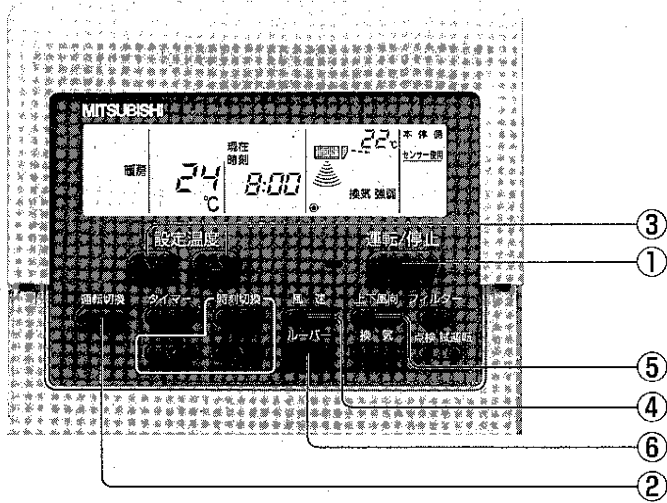
- “フィルター清掃”表示
フィルターの清掃をしてください。<16~18ページ参照>
- “集中管理中”表示
集中コントローラー等で、操作を制限しているときに表示します。
制限される操作は以下の通りです。
 - 運転/停止 ●運転モード ●設定温度
- 個々に制限される場合もあります。
- 氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

●●“この機能はありません”●●

●上下風向・ルーバー・換気ボタンを押しても機能がない室内ユニットの場合は“この機能はありません”表示が出ます。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

- 運転開始の前に...** 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1. **電源/停止** (運転/停止) ボタン①を押す。
● 運転ランプと表示が点灯します。
2. **運転切換** ボタン②を押す。
● 1回押すごとに設定が切りかわります。



※1 冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。

設定温度を変えたいとき

- 室温を下げたいとき… **設定温度ボタン③**を押す。
室温を上げたいとき… **設定温度ボタン③**を押す。
● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
● 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

風速を変えたいとき

- 風速** ボタン④を押す。
● 1回押すごとに設定が切りかわります。

	風速	リモコン表示
PLFY-JM形 PLFY-AM形 PCFY-GM形 PKFY-GM形 PKFY-AM形 PMFY-BM形	4段階	
PMFY-EM形 PEFY-AM形 PCFY-HM形 PSFY-GM形	2段階	

- お知らせ** ■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
 - 暖房運転直後（モード切換待機中）
 - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - ドライモードのとき

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

上下風向を変えたいとき

- (上下風向) ボタン⑤を押す。
 ●1回押すごとに設定が切替わります。

(PLFY-JM形, PLFY-AM形)



(PCFY-GM形)



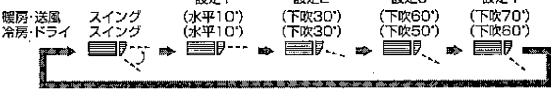
(PMFY-BM形)



(PMFY-EM形)



(PKFY-GM形)



(PKFY-AM形)



●上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	風速	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
暖房・送風	強・中1・中2・弱	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
冷房	中1・中2・弱	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
ドライ	設定不可			※1時間設定有効		
運転モードを変更した時の上下風向設定			冷房・ドライ・送風運転			暖房運転

※1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定 (スイング設定のときは継続します)

- 冷房・送風・ドライモードにしたとき 設定1
- 暖房モードにしたとき 設定4

お知らせ ■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。

- “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
- 暖房運転直後(モード切替待機中)
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

お知らせ ■PLFY-AM形の場合は、各吹出口毎に上下風向を固定することができます。
 ※設定は据付時行ないます。

なお、固定した上下風向はリモコンによる操作、及びすべての自動コントロールが無効になります。また、リモコンの液晶表示と異なる場合があります。

上下風向を変えたいとき(手動)

※(上下風向) ボタン⑤は使用できません。

(PEFY-AM形) 別売品の前面グリルをご利用の場合
 風向調節板(上下)を動かして風向きを変えることができます。風向調節板(上下)の向きは下図のとおりです。使いかたに合わせて風向調節板(上下)を調節してください。

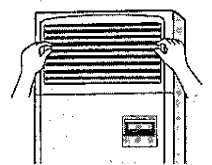


天井・下り天井設置の場合

暖房	冷房・ドライ
下向きにします。	水平吹きにします。
足元の温風が広がり、より暖房効果を高めめます。	風がお部屋全体に広がり、より冷房効果を高めめます。

(PSFY-GM形)

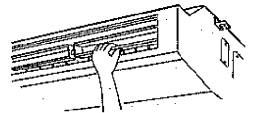
上下風向ベーンの両端に手をかけて操作します。通常、冷房・ドライ運転の場合には、正面吹出し、または上吹出しにし、暖房運転の場合は下吹出しにしてください。



※上下風向調節時、最上部・最下部の上下風向ベーンは運動しません。

(PCFY-HM形)

上下風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。
 (ベーンは上向10°~下向45°まで変えられます)



※冷房、ドライ運転時に下向きにしますと、吹出口周辺に結露し、滴下することがあります。その時は、風向を調節してください。
 ※冷温風が、火気や調理台、食材に直接あたり、調理に影響をおよぼす場合は、風向を調節してください。

△注意


上下方向の風向調節は、据付時に調節したあととはなるべく操作しないでください。

△注意

転倒しないよう足場をしっかりとって操作してください。

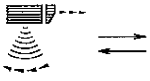
運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

左右風向を変えたいとき

 ボタン⑥を押す。

- 1回押すごとに設定が切り替わります。

PMFY-EM形, PSFY-GM形



作動時は矢印が交互に表示されます。停止時は表示されません。

- 作動時…風を自動的に左右に拡散します。
- 停止時…風を任意の方向で固定します。

左右風向を変えたいとき(手動)

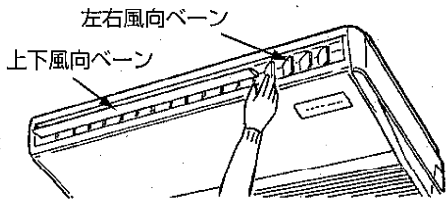
※  ボタン⑥は使用できません。

左右風向調節のしかた

PLFY-JM形
PLFY-AM形

左右風向ベーンを搭載していませんので風向調節できません。

PCFY-GM形



- 運転を停止し、上下風向ベーンの左端を持って水平に動かしてください。
- 左右風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。但し、吹出口左右両端のベーンは固定されています。

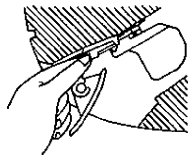
PMFY-BM形

- 運転を停止し、左右風向ベーンをお好みの向きに調節してください。



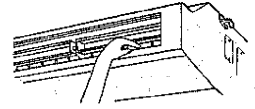
PKFY-GM形
PKFY-AM形

- 運転を停止し、左右風向ベーンをお好みの向きに調節してください。



PCFY-HM形

- 運転を停止し、上下風向ベーンを水平にして作業してください。但し、吹出口左右両端のベーンは固定されており動きませんので注意してください。



- 左右風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。(ベーンは左右、各々約45°まで変えられます)

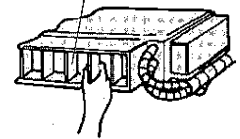
※冷温風が、火気や調理台、食材に直接あたり、調理に影響をおよぼす場合は、風向を調節してください。

PEFY-AM形

- 前面グリルを外してください。

左右風向ベーン

- 左右風向ベーンをお好みの向きに調節してください。




△注意

左右方向の風向調節は、据付時に調節したあとはなるべく操作しないでください。あまり、頻繁に左右方向に調節すると壊れる場合があります。

△注意

転倒しないよう足場をしっかりとって操作してください。

運転を停止するとき

 (運転/停止) ボタン①を押す。

再運転時の運転内容(リモコン設定)

- 再運転時は下記リモコン設定内容となります。

		リモコン設定内容	
運転モード		前回の運転モード	
設定温度		前回の設定温度	
風速		前回の設定風速	
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房	前回の設定風向※
		送風	水平吹出し

※前回の設定風向がスイングの場合は、下次出し(設定4)となります。

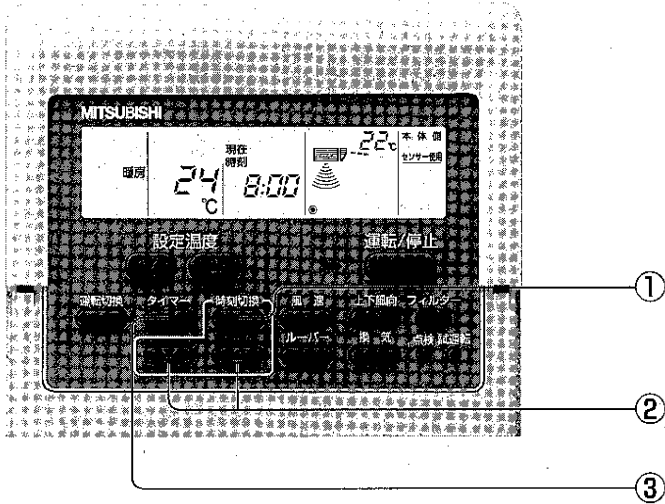
△注意

運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。

水漏れや故障の原因となることがあります。

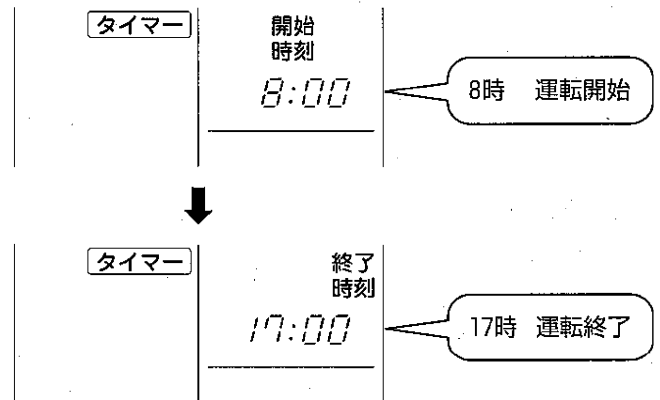
タイマー運転のしかた

タイマー運転のしかた



- タイマー運転には次の3つの方法があります。
 - **入タイマー運転** 運転の開始のみをタイマーで行なう。
 - **切タイマー運転** 運転の停止のみをタイマーで行なう。
 - **入切タイマー運転** 運転・停止の両方をタイマーで行なう。
- タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
- タイマー運転中（**タイマー**表示しているとき）は時刻設定・変更はできません
- タイマー時刻設定は、10分単位です。

タイマー設定表示例



現在時刻の設定を行なうとき

1. **時刻切換** ボタン①を押し、表示を **現在時刻** にする。
2. **▲** ボタン②を1回押すごとに進み、**▼** ボタン②を1回押すごとに戻る。
 - ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。
 - 設定終了後約10秒で表示は消えます。

入タイマー運転を行なうとき

1. **時刻切換** ボタン①を押し、表示を **開始時刻** にする。
2. ボタン②を押し、時刻を合わせる。
3. **終了時刻** を **--:--** の表示に設定する。
 - **--:--** の表示は23:50と0:00の間に表示されます。
4. **タイマー** ボタン③を押し、表示を **タイマー** にする。

切タイマー運転を行なうとき

1. **時刻切換** ボタン①を押し、表示を **終了時刻** にする。
2. ボタン②を押し、時刻を合わせる。
3. **開始時刻** を **--:--** の表示に設定する。
4. **タイマー** ボタン③を押し、表示を **タイマー** にする。

入切タイマー運転を行なうとき

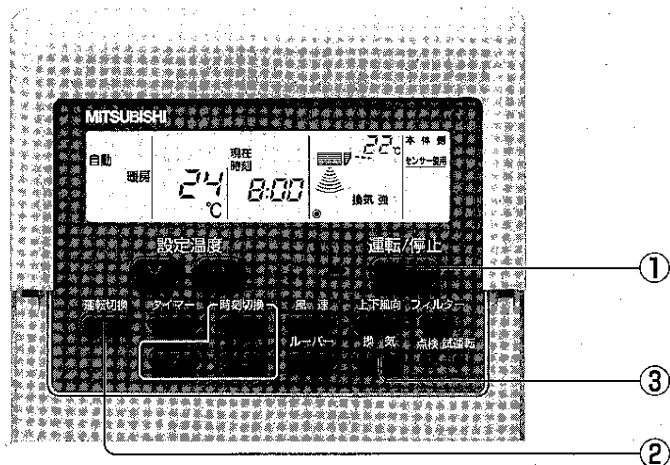
1. 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
2. **タイマー** ボタン③を押し、表示を **タイマー** にする。

タイマー運転を解除するとき

タイマー ボタン③を押し、**タイマー** 表示を消す。

お知らせ ■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

自動運転、換気単独・換気連動運転のしかた



自動運転、換気単独・換気連動運転のしかた

自動運転を行なうとき

1. **運転/停止** ボタン①を押す。
 2. **運転切替** ボタン②を押し、表示を **自動** にする。
 - 設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
- 〈リモコンに現在の運転モードを表示します〉(14ページ参照)

換気単独運転を行なうとき

1. **運転/停止** ボタン①を押す。
 2. **換気** ボタン③を押す。
 - 1回押すごとに設定が切り替わります。
- 換気 弱 ⇨ 換気 強 ⇨ 停止(表示なし)
- 冷房運転・暖房運転などの必要がなく換気運転のみをしたい時に使用します。
 - エアコン停止中でも **換気** ボタン③は有効です。

換気風量を変えたいとき

- **換気** ボタン③を押す。
 - 1回押すごとに設定が切り替わります。
- 換気 弱 ⇨ 換気 強 ⇨ 停止(表示なし)
- **換気** ボタン③を押した時 **この機能はありません** の表示が点滅する場合は換気装置が連動接続されていません。

換気連動運転を行なうとき

1. **運転/停止** ボタン①を押す。
 - 換気装置が連動接続している場合は、自動的に換気運転します。
2. **換気** ボタン③を押す。
 - 換気風量、強/弱どちらかに設定できます。

もっと知りたいとき

もっと知りたいとき



ドライ運転とは

- フリープランシステムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行いません。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行なわれ、リモコンでは設定できません。



●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間(分)	圧縮機停止時間(分)
	室温信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26~27℃	7	3
24~25℃		5	3	
23℃以下		3	3	
18℃以下	OFF	無条件	3	10

18℃以下 圧縮機運転禁止

室温信号ON …室温が設定温度より高い場合
室温信号OFF …室温が設定温度より低い場合

1. お好みの室温になるまで室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは運転して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの室温になると圧縮機・室内ファンとも停止します。10分間停止が続くと温度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。



暖房運転について

- 暖房開始時に風が出ない：室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。(ホットスタートといえます)
- 風速が設定どおりでない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。



使用温度範囲

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な事故の原因となります。

		室内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	—	-5℃~43℃
	湿球温度	15℃~24℃	—
暖房	乾球温度	17℃~27℃	—
	湿球温度	—	-15℃~15.5℃
送風・換気	乾球温度	—	—

※室内外共に使用可能な温度の目安は、相対湿度30~80%です。



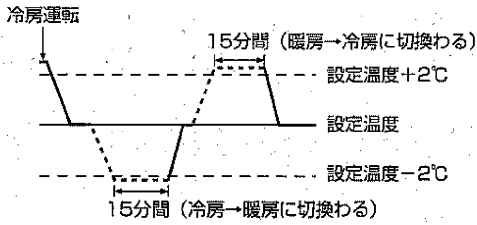
上下風向について(リモコン設定)

- 冷房・ドライ運転時、下吹出し(水平吹出し)に設定しますと1時間経過後、自動的に水平吹出し(下吹出し)に戻ることがあります。これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返しで使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出し(下吹出し)に戻してください。(10ページ参照)



自動運転とは

- 設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
- 自動運転中に室温が変化し設定温度より1.5℃以上高くなり、その状態が3分続くと冷房運転に切り替わります。また、1.5℃以上低くなり、その状態が3分続くと暖房運転に切り替わります。



霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行なっているときに表示します。霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。
- 霜取運転を行なっているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。



換気連動運転とは

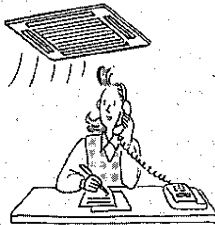
- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行なうものです。

上手な使い方

上手な使い方ー “フリープランシステム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

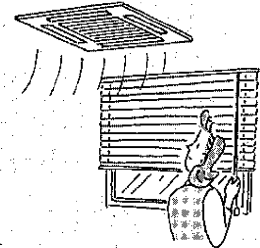
室内温度(室温)は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にすることが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



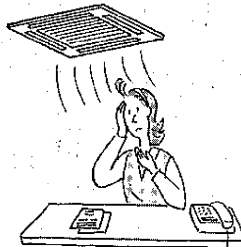
冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要とき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



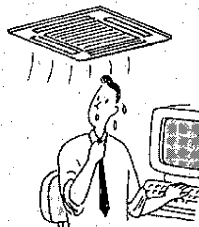
フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付・露たれの原因にもなります。
- リモコンはフィルターサイン付きです。(16~18ページ参照)



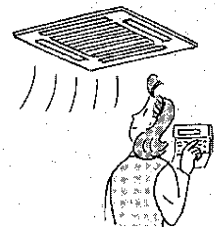
中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60~70%、冬では55~70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感ずることがあります。ドライ運転をご利用ください。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



ときどき換気を

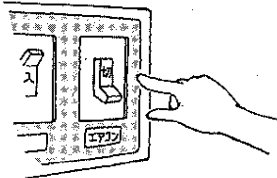


- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

お手入れのしかた

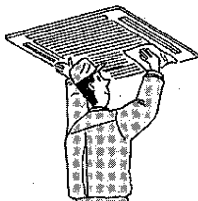
お手入れのまえに

■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

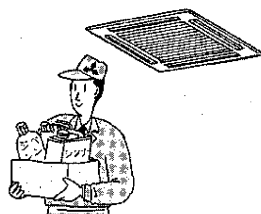


■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。

■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。また、リモコンケースは取外さないでください。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



フィルターの清掃

△注意

必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行なってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

△注意

フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なう時は、転倒しないように注意してください。

△注意

フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

△注意

長く運転していると、フィルターから油が垂れる恐れがありますので必ず、その前にフィルターエレメントの交換及び枠の洗浄をしてください。（PCFY-HM形）

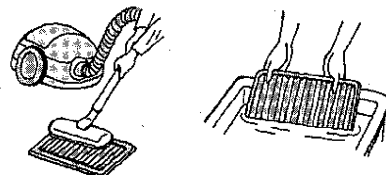
(1) フィルターを取外す。

<p>PLFY-AM形</p>	<p>① 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。</p> <p>② 吸込グリル端面中央のつまみ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターが外れます。</p>
<p>PLFY-JM形</p>	<p>① 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。</p> <p>② 吸込グリル端面中央のつまみ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターが外れます。</p>
<p>PCFY-GM形</p>	<p>① 吸込グリルのつまみを矢印の方向にスライドさせ、吸込グリルを開いてください。</p> <p>② フィルターのつまみを指でつまんで矢印方向に引き上げて外してください。また、フィルター清掃後、フィルターを取付ける時は、グリルのストッパーにフィルターを確実に押込んでください。</p>

PMFY-BM形		<ol style="list-style-type: none"> ①吸込グリルの「PUSH」部分を押ししてください。 ②カチッと音がしたら、吸込グリルの両端のつまみに指をそえて下に引いてください。 ③フィルターの取手をつまみ、下に引いてから手前に引出してください。
PMFY-EM形		<ol style="list-style-type: none"> ①吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと吸込グリルが開きます。 ②フィルターのつまみを持って吸込グリルの引掛部から外してください。
PKFY-GM形 PKFY-AM形		<ol style="list-style-type: none"> ①吸込グリルの左右の下側を手前に引きグリルを開け、エアフィルターを上へ押し上げてください。 ②フィルター下部をユニットの引掛部から外し、手前に取り出してください。
PEFY-AM形		<ul style="list-style-type: none"> ●天袋一面設置の場合 グリルを開け、フィルターのつまみをつかみ、一度奥へ押してから上へ引上げて手前に引出してください。 ●天袋分離設置の場合 吹出グリルを手前に引いて取外し、フィルターをつかみ、吸込グリルから引き抜いてください。
PSFY-GM形		<ol style="list-style-type: none"> ①吸込グリル取手部のネジを外し、吸込グリルを矢印の方向に開いてください。 ②吸込グリルを開いてください。 ③フィルターの取手を持って、矢印の方向に引き上げて外してください。

(2) フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



(3) 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないうでください。

**(4) フィルターを元の状態に取付ける。
(取外しの逆の手順)**

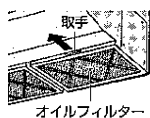
お手入れのしかた

オイルフィルターの清掃 (PCFY-HM形)

(1) オイルフィルターを取外す。

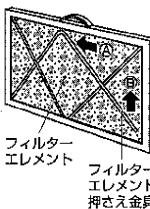
- ① オイルフィルターを矢印の方向にスライドさせて取外してください。

80形→3枚
140形→4枚



(2) フィルターエレメントの交換。

- ① オイルフィルターを矢印の方向にスライドさせて取外してください。
- ② フィルターエレメント押さえ金具(2本)を次の要領で取外してください。A側(内側)にたわませてから、Bの方向にスライドさせて、取外してください。



- ③ フィルターエレメント(使い捨て)を交換してください。
別売形名: PAC-SG38KF (12枚入)

※フィルターエレメントは枠の内側に確実に収めてください。

- ④ フィルターエレメント押さえ金具を元通りに取付けてください。

- ⑤ 本体への取付けは、フィルターエレメント押さえ金具側を必ず下にしてください。

(3) オイルフィルター枠の清掃。

〈用意していただくもの〉

- ゴム手袋などの保護具。
- たわしまたはブラシ。
※金属系のたわし、ブラシはアルミ部材を傷付けたり破損させる恐れがありますので避けてください。
- 家庭用中性または弱アルカリ性洗剤。(食器または洗濯用)
※アルカリ性洗剤で洗浄するとアルミ部分に変色する恐れがあります。

〈オイルフィルター枠の洗浄〉

※フィルターエレメントを取外した状態で洗浄してください。

① 汚れが少ない場合。

〈1週間(約100時間)に1回程度洗う場合〉

- 上記洗剤を使用し、たわし、ブラシ等で水洗いしてください。(ぬるま湯で洗うと更に効果的です。)

② 汚れがひどい場合。

■ 50℃以下のお湯に上記洗剤を入れ(10倍程度に薄める)、フィルターを1時間以上浸け置きしてから洗ってください。

※やけどしないようにお湯が冷めてから洗ってください。



フィルター清掃時期

■ ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅させて清掃時期をお知らせします。

■ フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	運転時間
PLFY-JM形	2500時間
PLFY-AM形	2500時間
PCFY-GM形	2500時間
PMFY-BM形	100時間
PMFY-EM形	100時間
PKFY-GM形	100時間
PKFY-AM形	100時間
PEFY-AM形	100時間
PSFY-GM形	2500時間
PCFY-HM形	100時間

※PCFY-HM形はフィルター点検の目安です。フィルターの交換時期は環境により異なります。1週間(100時間)ごとに点検し、油滴が滴下する前に、あるいは目詰まりを起こす前に早めに交換してください。(フィルターは使い捨てです。)

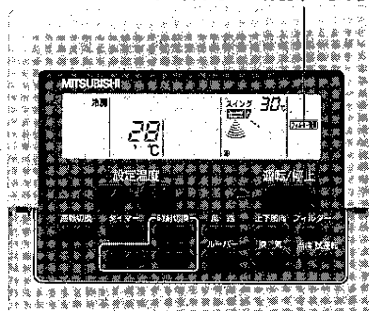
“フィルター清掃”表示をリセットする

(1) フィルター清掃後(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

■ 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります(ロングライフフィルター:約2,500時間、一般フィルター:約100時間)。清掃時期の短い時間により“フィルター清掃”表示されます。また、“フィルター清掃”表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。

■ “フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間に表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

“フィルター清掃”表示

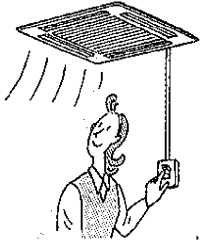


長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

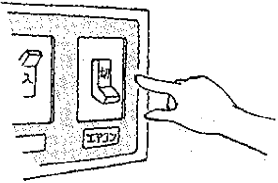
(1) 4~5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



(2) エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット~数十ワットの電力が消費されます。



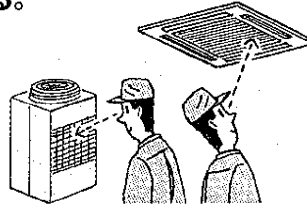
再度使い始めるとき

■下記作業(1)~(4)の点検を行ない、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

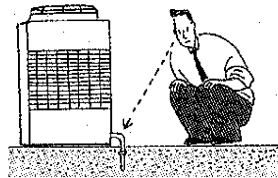
(1) フィルターを清掃して、取付ける。



(2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



(3) アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

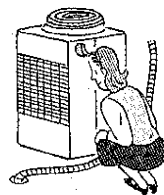


△注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。

アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行なう場合は販売店にご相談ください。

(4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

「故障かな？」と思ったら

故障かな？

お答えします。(故障ではありません)

よく冷えない。よく暖まらない。

- フィルターの清掃をしてください。(フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです)
- 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
- 室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？
- 窓やドアが開いていませんか？

暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。

- 十分に暖かな風をおとどけるため準備中です。

暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きまます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

風向が途中で変わる、風向が設定できない。

- 冷房運転中、下吹出し(水平吹出し)で使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出し(下吹出し)になります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
- 暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。

風向を変化させたとときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。

- 風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。

水の流れるような音や時々“ブシュ”と音がする。

- エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。

“ピシッ、ピシッ”という音がする。

- 温度変化で部品などが膨張・収縮して、こずれる音です。

部屋がにおう。

- エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。


室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。

- 室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。

室外ユニットより水・水蒸気がでる。

- 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
- 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。

リモコンの運転表示が点灯しない。

- 電源開閉器を入れてください。表示部に“”が表示されます。

運転ボタンを押したのに運転しない。点灯したリモコンの運転表示が消える。

- 室内ユニットの電源開閉器が切れていませんか？ 電源開閉器を入れてください。

リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。

- “集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。

再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

- 約3分間お待ちください。(エアコンを保護するため、止まっています)

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

- 入タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- “集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- 停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

- 切タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。
- “集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。

リモコンのタイマー運転がセットできない。

- スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。

リモコンに“H0”の表示が出る。

- 初期自動点検(約3分)を行なっているためです。

リモコンにエラーコードが表示される。

- 自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。*自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

排水音やモータの回転音がする。

- 冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。
- 運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転をしている場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し排水を行うためです。しばらくすると止まります。*1時間に2~3回以上の場合、サービスをお申しつけください。

暖房サーモOFF時及び送風運転時に断続的に温風が出る。

- 他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉するためです。しばらくすると止まります。*小部屋等で室温が上昇して困る場合は、運転を停止してください。

保証とアフターサービス

- 「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
- お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(別添)へお問い合わせください。
- エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証書

- 室外ユニットに保証書を添付しております。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”(20ページ参照)に従ってお調べください。
なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料+部品代+(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニット・室外ユニット共に! 保証書に記入してあります。
3.お買上げ日	〇〇年〇月〇日
4.故障の状況	できるだけ詳しく(リモコンのエラー表示記号なども)
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。
臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
- 点検と保全周期の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
膨張弁	1年	20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。

(機種によりこととなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)

②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。(夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所でご使用される場合(許容範囲外での使用はできません。)

③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

保証とアフターサービス／移設・工事について

■消耗部品の交換周期目安 [交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサー		10年

主要部品名	点検周期	交換周期
ヒューズ	1年	10年
加湿エレメント		3年
クランクケースヒーター		8年
オイルフィルターエレメント	随時	油が垂れる前に交換

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

移設・廃棄について

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ

（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など）
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。

■機械油を使用するところ

（加工油を用いプレスや切削をする機械工場など）
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

■車輛・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

■食用油を使用するところ

（厨房など）
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。
厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。

■湿気の多いところ

冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械（高周波ウェルダ、医療機器、通信機器など）を使用するところ

通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

（美容室など）
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

■海浜地区等塩分の多いところ

使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

■積雪の多いところ

室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」[内線規程]

及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。

他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

△注意

●アース工事を行う。

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大のもとになります。

仕様

室内ユニット仕様表

※() 内の数値は、ヒータ付の場合で組込みの補助ヒータの作動時を示します。
※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

●PLFY-P・JM-E形

50/60Hz

形名	36形	45形	56形	71形
冷房能力 kW	3.6	4.5	5.6	7.1
暖房能力 kW	4.0	5.0	6.3	8.0
電源	単相200V 50/60Hz			
騒音:強-中1-中2-弱 dB	35-34-32.5-31		37-35.5-34-32	39-38-36.5-35
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	15-14.5-14-13		16-15-14-13	17-16-15-14
補助ヒータ kW				
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	298×660×660			
質量(本体+パネル) kg	19+3.7		20+3.7	

●PLFY-P・AM(H)-E形

形名	22形	28形	36形	45形	56形	71形	80形
冷房能力 kW	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1	8.0
暖房能力 kW	2.5	3.2	4.0 (5.4)	5.0 (6.4)	6.3 (7.7)	8.0 (10.1)	9.0 (11.1)
電源	単相200V 50/60Hz			単相200V 50/60Hz (3相200V 50/60Hz)			
騒音:強-中1-中2-弱 dB	30-29-28-27		31-29-28-27	32-30-28-27		33-31-29-28	34-32-30-28
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	12.5-12-11.5-11		14-13-12-11	16-14-13-12		18-16-15-14	20-18-16-15
補助ヒータ kW					(1.4)	(2.1)	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm					258×840×840		
質量(本体+パネル) kg	22+5			22 (24) +5		24 (26) +5	

形名	90形	112形	140形	160形
冷房能力 kW	9.0	11.2	14.0	16.0
暖房能力 kW	10.0 (12.1)	12.5 (15.1)	16.0 (19.0)	18.0 (21.0)
電源	単相200V 50/60Hz (3相200V 50/60Hz)			
騒音:強-中1-中2-弱 dB	37-35-32-30	40-38-35-32	44-42-39-36	
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	22-20-18-16	28-26-23-20	30-28-25-22	
補助ヒータ kW	(2.1)	(2.6)	(3.0)	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	258×840×840	298×840×840		
質量(本体+パネル) kg	24 (26) +5	30 (32) +5		

●PCFY-P・GM(H)-E形

形名	45形	56形	71形	80形
冷房能力 kW	4.5	5.6	7.1	8.0
暖房能力 kW	5.0 (6.4)	6.3 (7.7)	8.0 (10.1)	9.0 (11.1)
電源	単相200V 50/60Hz (3相200V 50/60Hz)			
騒音:強-中1-中2-弱 dB	38-36-33-29	39-37-34-29	39-37-34-32	
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	12-11-10-8	13-12-10-8	18-16-14-12	
補助ヒータ kW	(1.4)		(2.1)	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	210×1000×680		210×1310×680	
質量 kg	27 (28.5)		34 (36)	

形名	90形	112形	140形	160形
冷房能力 kW	9.0	11.2	14.0	16.0
暖房能力 kW	10.0 (12.7)	12.5 (15.2)	16.0 (19.0)	18.0 (21.0)
電源	単相200V 50/60Hz (3相200V 50/60Hz)			
騒音:強-中1-中2-弱 dB	43-41-38-36		44-42-39-37	46-44-41-39
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	25-23-20-18		35-32-28-26	36-33-29-27
補助ヒータ kW	(2.7)		(3.0)	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	270×1310×680		270×1620×680	
質量 kg	35 (37.5)	37 (39.5)	43 (46)	45 (48)

●PMFY-P・BM-E形

形名	22形	28形	36形	45形
冷房能力 kW	2.2	2.8	3.6	4.5
暖房能力 kW	2.5	3.2	4.0	5.0
電源	単相200V 50/60Hz			
騒音:強-弱 dB	35-33-30-27	37-36-34-32		39-37-35-33
風量:強-弱 m ³ /min	8.7-8.0-7.2-6.5	9.3-8.6-8.0-7.3		10.7-9.7-8.7-7.7
補助ヒータ kW				
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	230×854×395			
質量(本体+パネル) kg	14+3			

室内ユニット仕様表

※() 内の数値は、ヒータ付の場合で組み込みの補助ヒータの作動時を示します。
 ※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

●PMFY-P・EM-E形

50/60Hz

形名	36形	45形	56形	71形	80形
冷房能力 kW	3.6	4.5	5.6	7.1	8.0
暖房能力 kW	4.0 (5.6)	5.0 (6.6)	6.3 (7.9)	8.0 (10.1)	9.0 (11.1)
電源	単相200V 50/60Hz (3相200V 50/60Hz)				
騒音:強-弱 dB	39-33/41-33		39-34/42-34		42-37/44-37
風量:強-弱 m ³ /min	10.5-8/11.5-8		10.5-8.5/11.5-8.5		15-12.5/17-12.5
補助ヒータ(別売) kW		(1.6)		(2.1)	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	198×940×610			198×1240×610	
質量(本体+パネル) kg	28+5.5			35+6.6	

●PKFY-P・GM-E形, PKFY-P・AM-E形

形名	36GM形	45GM形	56GM形	22AM形	28AM形
冷房能力 kW	3.6	4.5	5.6	2.2	2.8
暖房能力 kW	4.0	5.0	6.3	2.5	3.2
電源	単相200V 50/60Hz			単相200V 50/60Hz	
騒音:強-中1-中2-弱 dB	40-38-35-31		41-39-36-33		36-35-33-32
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	11.5-10.5-9.5-8		12-11-10-9		5.9-5.6-5.2-4.9
補助ヒータ kW					
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	340×990×235			295×815×158	
質量 kg	16			8.5	

●PEFY-P・AM-E形

形名	22形	28形	36形
冷房能力 kW	2.2	2.8	3.6
暖房能力 kW	2.5	3.2	4.0
電源	単相200V 50/60Hz		
騒音:強-弱 dB	40-33		41-34
風量:強-弱 m ³ /min	12-9.2		12.4-9.5
補助ヒータ kW			
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	230×750×400		
質量 kg	21		

●PCFY-P・HM-E形

形名	80形	140形
冷房能力 kW	8.0	14.0
暖房能力 kW	9.0	16.0
電源	単相200V 50/60Hz	
騒音:強-弱 dB	38-32	50-44
風量:強-弱 m ³ /min	19-14	38-30
補助ヒータ kW		
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	280×1136×650	280×1520×650
質量 kg	41	56

●PSFY-P・GM-E形

形名	56形	71形	80形	112形	140形	160形
冷房能力 kW	5.6	7.1	8.0	11.2	14.0	16.0
暖房能力 kW	6.3	8.0	9.0	12.5	16.0	18.0
電源	単相200V 50/60Hz					
騒音:強-弱 dB	38-33	40-35	42-37	48-42	49-43	52-46
風量:強-弱 m ³ /min	16-13		18-15	30-24	33-26	35-27
補助ヒータ kW						
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	1900×600×270			1900×600×350		
質量 kg	41	43		51	53	

仕様

愛情点検

●長年ご使用のエアコンは点検を!

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、
電源を切り、必ず販売店
に点検・修理をご相談く
ださい。

後日のため記入しておくとお便利です。

お買上げ(据付)日 年 月 日

お買上げ店名

電話



三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市小島3-18-1
 ☎(054)285-1111(代表)

BG79U254H01